

沼上 賢次 議員

大規模地震時の

電気火災の発生抑制を

問 防火対策として「感震ブリーカー」等の設置補助制度導入や、電気火災の周知徹底など、設置に向けた取り組みはどうか。

答 延焼火災の危険性の高い密集市街などの対象区域の設定、感震ブリーカーの各タイプの特徴を研究し、設置に対する補助制度の導入については前向きに検討していきたい。



学校に設置されている防犯カメラ

学校施設の防犯強化を

問 学校施設の安全確保、防犯抑止のため、各小学校へ防犯カメラを設置できないか。

答 子どもたちの安全・安心のため、防犯カメラは有効と考える。今後、各小学校の状況を踏まえ、効果的な設置について検討していきたい。

認知症の予防から

早期発見、早期対応を

問 認知症は、誰もがなりうる病気である。地域で見守る体制として、認知症簡易チェックサイトを導入できないか。

答 物忘れの症状が心配という方やその家族が、簡易にチェックできるシステムシートを市のホームページに掲載し、手軽にセルフチェックできる体制を整えていきたい。

寺井 紗知子 議員

平和行政の取り組みは

問 戦争のない平和な暮らしを継続させていくには、どんなことが必要か。

答 悲惨な原爆の体験や、戦争の様子を市民が見て、それを後世に語り継いでいくことが非常に大切なことと思っている。中学生を広島へ派遣した大きな理由でもある。

コミュニティセンター

移行後の社会教育

問 公民館は社会教育法に位置付けられた社会教育施設である。コミュニティセンターにおける社会教育のあり方は。

答 社会教育事業は教育委員会の責務として、地域の実情や市民のニーズに合わせ効果的に実施したい。また、テーマとしても重要であり、社会教育委員にも諮っていきたい。

総合健康センターの

耐震性は

問 平成15年、16年に簡易補強工事を実施したが、上層部の重量を軽減するなど安全性の確保は必要ないか。

答 耐震性がやや劣り、倒壊する危険性は低いですが、かなりの被害を受けることが想定されるランクIIの施設とされている。使用しているのは主に2階建ての部分で、建物の加重が低く、安全性は高い。



正面から見た総合健康センター